

AJU 愛実

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
- ・居宅介護事業所あみ
- ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家／愛実友だちの家／紙風船)

*第40号 会報

定価：一部100円

- 「社会を変えよう！」／島 しづ子・・・・・・・・・・P1
- 2018年度 愛実の会全体研修会研修報告・・・・・・・・P2
- 愛実の会イベントのお知らせ・・・・・・・・・・P3～P4
- 2017年度 法人事業報告・・・・・・・・・・P5
- 2017年度 会計報告・・・・・・・・・・P6
- 大地の家のページ・・・・・・・・・・P7～9
- 紙風船のページ・・・・・・・・・・P10～12
- 「友情をとるか、焼肉をとるか」／南 寿樹・・・・P13
- 寄付者名簿・・・・・・・・・・P14



↑ ボウリング外出
(大地の家)

↓ イオンにてグッズ販売
(紙風船)



社会を変えよう！

理事長 島 しづ子

愛実の会にはいくつもの出発点がある。1987年頃はメンバーたちが港養護学校に通っていたので、五番町の旧名港教会に土曜に集まったり、夏休みに大高の青年の家などで合宿をした。みどりファミリーのメンバーたちが泊まりがけの介助をしてくれた。素人集団が無茶なことをしたものだ。でも楽しかった。車椅子用トイレは無かったから、トイレにサマーベッドを持ち込んだり、いろいろ工夫した。三段に折れる持ち運び用ベッドも作って街中に出て行った。今、法人のトイレのベッドを見たり、サービスエリアの立派な障がい者用トイレを見るたびに嬉しいようなさびしいような気がする。

土曜日にこどもを連れて集まり、長村さんや加藤さんたち八事教会を中心としたボランティアさんに子ども達を見てもらっている間、親たちはどんな施設を作ろうかと話し合った。忘れられない会話があった。愛実の会の親たちは、障がいの重い子どもの介護に精一杯で、バザー活動をして資金を作ることが不可能だった。で、「資金は？人手は？」となる。私は言った。「私たちは子どもたちをここに連れてくるのを仕事にし、他のことは他の人たちに助けてもらいましょう」と。すると、ある方が言った「私は島さんのいう事を信じない。親族だって助けてくれないのに、赤の他人が手伝ってくれるはずがない」と。さらに親たち共通の想いは「この子を残して死ねない」ということだった。暗くなる思いの中、私は言った。「私たちが大事に育ててきたように、社会がこの子たちを大事にしてくれたら、安心して死ぬるじゃない、だからこの子たちを大事にしてくれる社会を作りましょう」と。

とはいえ、娘の陽子の体調が悪く集まりには参加できなかつたり、入院が続いた。入院時は友人や愛実の会の親たちが交替で看病してくれた。陽子は1995年一月インフルエンザで亡くなった。陽子が亡くなって一カ月後の記念会は、愛実の会メンバー親子が参加してくれた。その後で、Mさんのお母さんが私に言った。「うちのMはおかしいんだわ。お仏壇の前で陽子ちゃんが亡くなったと言って泣いている」と話してくれた。そのMさんのお母さんが陽子の死から4ヵ月を経ないで、硬膜下出血で亡くなった。お葬式に伺って、私は心の中で言った。「ごめんね、まだ安心して死ぬる社会にはなっていないね。でもあなたのお子さんはわたしたちが守っていくから」と。

その後、Mさんのシュートステイ先や入所先を探したけれど、ふさわしい場所はなかった。Mさんの今後をめぐり、お父さん、お兄さんと私たちが相談して、Mさんに週日は五番町に泊まって頂くことになった。1995年4月は「愛実友だちの家」が名古屋市の小規模作業所の認可を受けてデイケアを開始した。6月からMさんはデイケア後もそこに泊まり、土・日は実家に帰るという生活を続けた。初めMさんは泣かなかつた。陽子の死を悲しんでくれたMさんのお母さんの死が悲しくないはずはない。不思議に思って観察した。お父さんやお兄さんがMさんを置いて帰る時に言った言葉は「泣くんじゃないぞ、迷惑かけるな」だった。泣けなかつたのだ。それで私は「お母さんが亡くなって悲しいのは当たり前だから泣いていいよ」と言った。それからはお母さんが料理上手だったこと、綺麗好きだったことなどを話して泣いた。半年後くらいからお母さんの思い出話に笑うようになった。賢い人だと思った。こうして、Mさんは親元を離れて暮らす重度心身障害者のモデルケースのようになった。Mさんが他の利用者のショートステイや居宅介護への先駆者となったことにあらためて感謝したい。

2018年度法人全体研修会

愛実の会では、理念の確認、一年の目標を語り合い、一緒に働き互いを知り合うことを目的に4月29日全職員を対象に研修会を行っています。

今年度は外部の講師をお招きして、「接遇マナー研修」としてコミュニケーション・電話対応・クレーム対応の内容を行いました。

以下、アシスタントの研修の感想を抜粋して載せています。

今年度の研修は接遇マナーと云う事で、社会人としてのマナー研修会の様なものだと思っていましたが、実際は愛実の会で働くうえで大切な事を多く学ばせて頂きました。実際に福祉の現場に立つ方からのお話で、メンバーにとってどんなアシスタントが望ましいのか、又どうあるべきかを教えて頂いたように思います。メンバーから信用される、という事はとても難しい事だと思いますが、メンバーの思いを頭から否定するのではなく、一旦受け止める事が必要だと感じます。その上でどう解決して行くかを考えて行く事がアシスタントの仕事・役割なのだと思います。

コミュニケーションの方法の中の傾聴スキルが自分自身、全然足りないなど痛感しました。メンバーの言葉を正面から受け止めて、色々と最近ぶつかってしまう事や、喧嘩みたいになってしまう事が多かった様に思います。傾聴スキルの1クッションを置く方法や共感力を大切にして、メンバーと接して行くよう心掛けて行きます。そして言葉の大切さや、本人に気付かせることの大切さをしっかり考えていきたいです。

支援者としてメンバーと向き合うために必要なコミュニケーション能力や、気持ち良く働けるための方法を具体的に学びました。私もありがちな、馴れ合いについてはお互いに関係性が完成してしまい、聞こうと思う気持ちが無くなったり、決めつけが多くなってしまおうと相手(メンバー)も発信すること伝える事を諦めてしまう、とありました。やはり関わりが長くなると言いたい事も少しだけで分かる様になります。でも、そんな中でもこの仕事は相手の気持ちを聞こうという姿勢、「こう思うのかな?」「どうして泣いているのかな?」という「?」の気持ちを、ずっと持ち続けようと思いました。

コミュニケーション力では介護職員としてのプロとして聴く力の重要性にとっても共感を覚えました。心で聴くこと、相手を大切にする事で、自分の心が広がっていくように思えました。

愛実の会イベントのお知らせ

第15回 当事者研究全国交流集会名古屋大会

対談
向谷地生良氏(べてるの家)
熊谷晋一郎氏(東京大学准教授)

誰もが当事者＝「苦勞の主人公」として、似た経験を持つ仲間とともに自らの生きづらさを研究対象とすることで、困りごとの意味やメカニズム、対処法を探り当てる取り組みです。当事者研究は全国各地へと広がりを見せており、今では海外からも注目を受けています。

終(尾張)わりから始まる
当事者研究

2018
10/7日 参加費: 2千円

会場: 愛知淑徳大学 長久手キャンパス7号棟
大会: 10:00~16:30 (受付9:30~) (P有)
懇親会: 18:30~ (名古屋ビール園浩養園お申込みは裏面)

大会HP

参加費:2,000円 どなたでも参加できます。定員500名 (定員になり次第〆切)
詳しくは大会HPを参照ください。また参加申込書は大会HP又は愛実の会HPからもダウンロード
できます。 問い合わせ:事務局090-3831-0673(戸田)まで

フルートとチェロの祈り 輝く明日へのコンサート

ドイツ本場から～古賀敦子&ゲオルギー・ロマコフ

2018年7月26日(木) 18時開場 18時半開演 名古屋YWCAビッグスペース

名古屋市中区新栄町2-3、地下鉄「栄」東5番出口より東へ2分

主催:愛実の会・名古屋ダルクチャリティー 後援:みどりファミリー

電話お申し込み:090 1754 0104(島) 又は 052 693 5897(愛実の会)

メールお申し込み: info@aminokai.com 入場料 1500円



フルートとチェロの祈り

古賀はパリ国立高等音楽院一等賞で卒業、今年はブルガリアのソフィアソリス
テン他でもソリストとして招かれ、ヨーロッパ各地でラジオテレビ出演を繰り返
げる。ロマコフは幼少時代から国際コンクール優勝後、ミュンヘン国立音楽大学
卒業。アメリカでもデビュー。マグデブルグ交響楽団の首席チェロを務め、定期
的にソリストとして共演。二人は同交響楽団で知り合い、以後各国で共演を重ね
る。ドイツ、ゲニュインとワルシャワのアナグラムからCDも好評発売中。

プログラム
J.S. バッハ『ソナタ ハ長調 BWV1033』
ベートーベン『2つの眼鏡付きデュオ Wo032』
シベリウス『二重奏曲 ハ長調』
P.M. デュボア『小さな組曲』
ドビュッシー『シリンクス』
コダーイ『アレグロ』
他
一部変更もありえます。

2017年度 法人事業報告

愛実の会は当法人の理念にのっとり、重度の障がいのあるメンバーのサポートに力を入れて、彼らが安心して充実した地域生活を継続的に送ることが出来るよう、他の団体と協力しながらより良いサポートを目指し下記の事業に取り組んでいます。

- ① 生活介護事業 障がい者デイセンター愛実 (大地の家・紙風船)
- ② 居宅介護事業 居宅介護事業所あみ (ホームヘルプ)
- ③ 法人独自サービス事業 (緊急時対応有料サービス)

★生活介護事業について メンバー31名 (2018年3月31日現在) 1日平均17名の利用 (定員20人)
・大地の家(17名)「季節感」を重点的に捉え、季節の行事や日常の活動に季節を感じられる取り組みを実施。メンバーの思いを汲み取り、寄り添える関係作りを大切にしてきました。

・紙風船 (14名) テーマ「楽しく元気に出かけよう・ふれあいつながり大切に・心からの笑顔を広げよう」を目標に人形劇公演活動 (14回) を実施。設立21年目を迎え活動内容の充実を図り、新作グッズ作りや、SNSの充実等新たな夢づくりにチャレンジして来ました。

★居宅介護及び移動支援事業について

・重点課題として「メンバーの地域生活を考える」をテーマに取り組み、11月～新たな体制の整備、1月～事務所移転を進めながらメンバー・家族に寄り添うサービスの提供を努め、4月～「居宅介護事業所あみ」がリニューアルされました。人的不足については未だ解消されていませんが、これからの大きな課題として高齢化・重度化に伴う不安から、安心できる地域生活の継続的支援をみなさんと一緒に考えていきます。

★独自サービス事業について

・緊急時の対応として障害者総合福祉法の制度で対応できない部分をつなぎ、様々なケースに対してサービスを提供して来ました。居宅事業の拡充に伴い独自サービスの範囲も広がっています。(2016年度7件→2017年度24件)

★研修について

・4月30日(日) : 法人設立10周年記念講演会 東築地学区防災センターにて
講師 べてるの家 向谷地生良氏 参加156名
テーマ「言葉を取りもどす」～語る共同体べてるの歩みから～

★ ボランティアの受け入れ

・南山幼稚園ミュージックベル、ホールイベント、紙風船日中活動&人形劇公演、交流会等

2018年度 活動方針

- ① 経営主体の充実を図りつつ、理事会および事務局の役割を明確にしていく。
- ② 介護職員のスキルアップを目的として、外部への研修参加を奨励していく。そのための研修補助制度を設け、勤務調整の中で自己研鑽の場を提供していく。
- ③ 認定NPO法人として情報の公開及び支援の輪を広げていくために、法人のホームページを充実させていく。
- ④ 新たに「居宅介護事業所あみ」が立ち上がったことで、メンバーの将来への課題及び地域とのつながりの拠点となることを模索していく。
- ⑤ 就業規則、慶弔および福利厚生等の各規程を見直し、働く環境整備を行う。

活動計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日

特定非営利活動法人 愛実の会

科目	金額		単位:円
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	150,000	150,000	
2. 受取寄附金			
寄附金	2,965,696		
夢づくり	132,600		
受取寄附金計		3,098,296	
3. 事業収益			
1)生活介護事業収益	104,793,374		
生活介護事業	102,106,004		
食事収入	2,353,970		
就労支援事業収入	333,400		
2)居宅介護事業収益	3,840,193		
3)独自サービス事業収益	32,250		
事業収益計		108,665,817	
4. その他収益			
雑収益	583,381	583,381	
経常収益計			112,497,494
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費			
給料手当	59,853,910		
法定福利費	8,155,973		
福利厚生費	915,770		
人件費計	68,925,653		
(2)その他経費	29,179,350		
事業費計		98,105,003	
2. 管理費			
(1)人件費			
役員報酬	3,000,000		
給料手当	6,245,299		
人件費計	9,245,299		
(2)その他経費	3,087,092		
管理費計		12,332,391	
経常費用計			110,437,394
当期経常増減額			2,060,100
法人税、住民税及び事業税			68,500
当期正味財産増減額			1,991,600
前期繰越正味財産額			59,648,065
次期繰越正味財産額			61,639,665

※ 貸借対照表はWeb：愛実の会ホームページ及び内閣府NPO法人ポータルサイトより「愛実の会」検索にて閲覧することが出来ます。尚、皆様から頂いた寄付金は、① 建物改修費借入金返済（320万円）② 居宅介護事業所移転費用（430万円）③ 紙風船夢づくり（人形劇制作費：30万円）のために活用させていただきました。2010年～障がい者デイセンター愛実の移転改修に伴う借入金4,480万円は2017年度を持って完済することが出来ました。感謝を持って報告させていただきます。ありがとうございました。



大地の家のページ

(P 7 ~ 9)

遠足 (太平洋フェリーランチクルーズ) 4/8

2017年度の遠足は太平洋フェリーの伊勢湾ランチクルーズに出かけました。久しぶりに近場の遠足でメンバーの参加が16名となり、今までで最も大勢での遠足になりました。また当日は天候に恵まれ海上も穏やかで、参加メンバー皆が機嫌よく楽しい時を過ごすことができました。

フェリーターミナルに集合し、栈橋の途中にあるエレベーターから乗船しました。そのため船を間近で見上げることができ、「大きい船だなあ」「みんなで乗れるんだね」と期待をふくらませて、乗り込みました。

船内のレストランでランチビュッフェの後、甲板に出て心地よい潮風を受けながら散策をしました。行き交う大小の船や遠くの間々、湾岸の工場群などいつもは目にすることがない海の上からの眺めを楽しみました。また、セントレアを離発着する飛行機が大きなエンジン音をあげて真上を通ると、メンバーはおおっという様子で見上げていました。最後にどのメンバーも、もう少し船を楽しんでいたいねという表情をしていました。



花フェスタ記念公園 バラ祭り 5/28

新緑の5月に今が満開のバラの花を見に出掛けました。

「園内は今が一番の見ごろ」と現地のボランティアさんに教えられ、色も大きさも形も香りも多種多様なバラの花を見飽きずに見て回ることが出来ました。

園内にある展望台から眺める景色は圧巻で、色とりどりのバラが並び一つの大きな絵のようでした。バラ園の全貌が見渡せ、皆が大きな歓声を上げていました。

そして、展望台から降り、バラの近くを歩いてみると、迷路のように背丈の異なるバラが配置され、低い位置に咲くバラはメンバー目線で見ることができました。まるでタワーのように2mを越える高さまでバラが咲いている花もありました。

その中からお気に入りのバラを見つけて記念撮影をしました。

世界のバラ園に行くと、国内ではあまり見かけない品種の花も間近に見られて身近に世界一周した気分になりました。

バラの花一つとっても奥が深く、一人一人が一つ以上お気に入りの花を見つけられたかなと思います。バラの季節を肌で感じ、メンバーもにこやかな表情で楽しんでいました。



氷の朔日 (ついたち) 6/1

大地の家では昨年度に続き今年度も季節を感じる事の出来る活動を大切にしています。普段外に出て季節を感じる機会が少ないメンバー達に、活動を通して季節を身近に感じてもらうためです。

今回の氷の朔日もそのひとつです。6月1日は「氷の朔日」と呼ばれ氷や氷餅などを神様にお供えしていたようです。現代ではあまり耳にする機会のない風習ですが、夏を元気に乗りきれるようお願いをこめて、この日に冷たいものを食べようと企画しました。

大地の家でも、氷をイメージして水まんじゅうを作り、片栗粉と砂糖と水を混ぜる工程をメンバーと取り組みました。

メンバーは、何が出来るか楽しみな様子で笑顔で材料を混ぜてくれました。

ティータイムに出来た水まんじゅうをメンバー、アシスタントで食べました。弾力があり、少々歯ごたえがありましたが、それでも手作り感溢れる活動になったのではないかと思います。

これからも出来るだけメンバーが参加して季節を感じてもらえるような企画、活動を続けて行きたいと思っています。



音楽活動の充実を



今年度の大地の家では、メンバーにとって楽しめる活動をより増やしていこうと考え、音楽の活動に力を入れていくことになりました。

今までも、外部の講師を招いて月に2回「リトミック」の活動や、個々のアシスタントによる音楽活動を行っていました。

他の活動と比べるとメンバーの反応が大きく、どのメンバーも楽しんで参加していることが伺えたことから、音楽活動にこれまでよりも力を入れて取り組んでいくことになりました。

音楽活動では、ただ音楽を聞くだけでなく、歌を歌ったり、音楽に合わせて身体を動かしたり、楽器を鳴らしたりと様々な動きを含んだ活動を行います。

ピアノの音が聞こえてくるだけで笑い出すメンバーがいたり、身体を動かすことが楽しいメンバーもいます。また、曲だけでなくリズムを好むメンバーもいたりして、それぞれ好きなポイントは違いますが、どのメンバーも楽しんで参加しています。

音の振動は耳から鼓膜に伝わり音として認識されるだけでなく、身体全体に振動としても伝わります。自ら体を自由に動かすことが難しいメンバーにとって、このように振動が体を揺らすことは大きな刺激になっています。

大地の家では音楽活動に本格的に力を入れ、メンバーと共に音楽を楽しんでいくために、アシスタントの専門性を高めようと考えています。

今年度は日本ミュージックケア協会主催の初級研修にアシスタント4名が参加しました。

このミュージックケアというのは、音楽の特性を生かして、対象者の心身に快い刺激を与え、対人的な関係の質を向上させ、情緒の回復や安定を図るというものです。

さらに、運動感覚や知的機能の改善を促し、対象者の心身と生活に好ましい変化を与えることも目的としています。

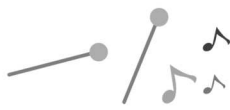
この研修で得た技術と考えを大地の家にも還元し、メンバーとアシスタントが皆で参加できる活動として実践を行い始めたところです。

実践の中では、新しい取り組みのため戸惑いもあり、メンバーが参加しやすいものもあれば、参加の難しいプログラムもありました。

一つ一つのプログラムの中でメンバーの反応や参加度を観察しながら試行錯誤している段階です。

しかし、活動が終わると充実した気持ちになることが多く、メンバーとアシスタントの一体感を強く感じることができました。

「だれでも・どこでも・いつでも」楽しむことのできる音楽療法であるミュージックケアを、活動の中に定期的に取り入れ、皆で音楽活動を楽しんでいきたいと思えます。



紙風船のページ (P10~12)

四季を告げる木々や草花は、最近の季節の移り変わりの早さに着いていけなくて困っているようですね。
今回は、紙風船のテーマ「楽しく元気に出かけよう！・ふれあいつながり大切に心からの笑顔を広げよう！」それぞれに沿った活動を報告したいと思います。

楽しく元気に出かけよう！～レク報告～

3度目の正直～ラグーナテンボスへ！～

昨年度、2回とも雨のお出かけになってしまったラグーナテンボスへのレクリエーション。「今度こそは！」との願いが通じたのかやっとお天気に恵まれました♪
ちょうどバラの季節でしたので、バラ園散策とちょっぴりぜいたくなお昼ご飯を満喫したメンバーもあり、また去年体験しているメンバーは、園内の施設もバッチリ知り尽くしていて、限られた時間を楽しく目いっぱい楽しむ事ができたようです！

みんないい笑顔♪



満開のバラをバックに



ヤクルト工場&プライムツリーへ！

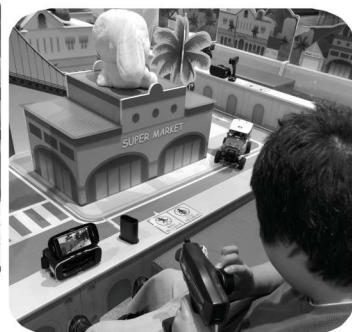
プライムツリー赤池では、お昼ご飯を食べてから各々自由散策をしました。ミニチュアで作られた街を実際にドライブしているような感覚になれるVR体験をしたり、プリクラで撮影をしたりと、それぞれのメンバーがエンジョイできました♪

ヤクルト工場ではヤクルトが生まれた経緯についてや、製造ラインを見学して学ぶことができました！天候にも恵まれて実のある1日となりました☆

VR楽しい♪



大きいヤクルトと並んで記念撮影！



ふれあいつながり大切に～交流と歓迎～

大府の郷開設5周年記念祭へ



「特別養護老人ホーム大府の郷」ではメンバーからの紹介がきっかけでここ数年ボランティア公演をさせていただいています。いつも職員、利用者の方々が温かく迎えてくださり私たちも楽しい人形劇をお届けしてつながりを深めてきました。

今回は「大府の郷開設5周年の記念祭」に招待して頂き、私たちは公演の時のように緊張することなく、リラックスしてお邪魔させていただきました。

和太鼓の演奏や演歌ショーなど賑やかな催し物あり、また模擬店では焼きそばやカレーパン、ちらしずしなどをごちそうもいっぱい！賑やかでなごやかな雰囲気を

満喫してきました。

今年もまた私たちの公演を観ていただき、みなさんに笑顔をお届けできるとよいですね！



紙風船から色紙を
プレゼント♪



紙風船へようこそ♪



ご報告は何度かしていますが、紙風船には今年度から新しいメンバーが2名入りました。また、学生時代からアルバイトで紙風船を支えてきてくれていたアシスタントが4月から正職員となりメンバーにしっかり寄り添って来てくれています。

新メンバーのS. Mさんは以前紙風船に何度か実習に来たことがありメンバーとも顔見知りです。しかし正式に紙風船の一員となったことにまだちょっぴり緊張気味…。それでも、自分の事や目標などを積極的にアシスタントに話してくれるようになっていきます。もう一人の新メンバーはH. Tさん。笑顔の素敵なメンバーです。好きなアーティストの追っかけで日本中旅もするそうですよ！お二人とも週に1、2度の通所ですが、少しずつ活動にも慣れ楽しく過ごしています。また、アシスタントの角田さんは大学時代からの紙風船でのアルバイト経験を活かし、即戦力となって支えてくれています。

新しい風が、きっと紙風船をもっと高くもっと遠くへ飛ばしてくれることでしょう！



H. Tさん



S. Mさん

頼りにしています♪

心からの笑顔を広げよう！～人形劇団紙風船公演だより～

【公演予定】

- 2018年7月21日 (土) ヨナワールド公演 「ボーちゃん」
7月29日 (日) 清州市障害児とその保護者を支える会 「ボーちゃん」
※8月26日 (日) 北なごやパペットフェスタ 「ぼくたちにできること」
※9月16日 (日) ひまわりホール子どもアートフェスティバル
「ボーちゃん」
10月13日 (土) 長久手市社会福祉協議会 「ぼくたちにできること」
※の公演は一般入場可です！ お問い合わせ：紙風船まで

発声・呼吸法を学ぶ

長い間紙風船を見守り、協力して下さっているアシスタントの茂吉さん。いつも、メンバーのケアや人形劇への参加をお願いしています。

紙風船では、今年の1月から人形劇に必要な「声を出すこと」

「そのための呼吸法」を、改めて茂吉さんに訓練していただく時間を作っています。

その名も「茂吉さんプログラム」！

毎回、なぞなぞやしりとりを取り入れたり歌に合わせた発声法など、メンバーが参加

しやすくわかりやすい内容を考え実践してくれます。アシスタントも大変勉強になっています。

回数を重ね、基本の呼吸や声の出し方もメンバーに定着してきたようで、普段の朝の発声練習も充実してきました。きっと人形劇の稽古や公演にも生きてくる日があると思います。

茂吉さん、これからも共に楽しく発声法を勉強していきたいと思えますのでよろしくお願いします！



公演依頼募集中！



☆1公演2万～(予算につきましてはご相談に応じます)

☆各地域のイベントや学校の福祉教育など、目的に合わせたプログラムを組むことができます。

☆私たちは、紙風船の想いを多くの方々に広めていきたいと思っています。メンバーも、手紙やメール、SNSを使って宣伝活動を頑張っています。

観てくださる方々に笑顔になれるような人形劇をお届けします。

一緒に素敵な時間を過ごしませんか？

ホームページ、ブログ、フェイスブック、ツイッターで紙風船の活動の様子をご覧ください。

「人形劇団紙風船」をWebで検索！

人形劇団紙風船



「友情をとるか、焼き肉をとるか」

—こだわりの強い生徒の心を緩める試み—

南 寿 樹

今年度、大府特別支援学校は同じ敷地内にもちのき特別支援学校ができ、多くの生徒が移った。そのため、本校は全校22名の児童生徒数に減った。先日、体育館で行われた運動会は、少人数ゆえに児童生徒一人ひとりが注目を浴びる。マスゲームやフォークダンスの他に、紅白に分かれての競技種目が3種目。その中でも、フライングディスク（frisbee）を使つて的を通過させる競技は一人ひとりの名前が呼ばれ、本人からの意気込みも発表し、得点がすぐさま得点板で示される。この種目に対して、プレッシャーが苦手な大樹（高2）が、「なんで人を追い込むんだ！ はずしたらチームのみんなに迷惑がかかるし、絶対嫌だ」と早くから拒否反応を示していた。

大樹は思い通りにならないと、そこから、なかなか切りぬけることができない。高1での初めての体育のとき。フライングディスクゲームで、大樹は的を外すと、顔を真っ赤にして怒り、器具庫に走りこんでなかなか出てこなかった。また、昨年の運動会でも、大樹の白組が負けると、「もうやっとなれん」と何度も怒りの言葉を発し、3日間ほど機嫌が悪かった。（大樹は中学生時代、通常学級で不登校だった。大樹のそうした言動が、結果的に、級友を離れさせるのにつながったかもしれない）

今年、2回の種目練習のうち、1回は成功したが、もう1回は惜しくも失敗した。その結果を、自分で受け入れられずに、体育館から出てエレベーターのところで座り込んでいた。

そして、本番3日前の予行練習に失敗したとき、鉢巻きで首を絞める仕草までした。私はそんな痛々しい大樹の姿を見ながら、「そこまで追い込む種目自体をやめた方がいいと提案すべきではないか」とも思った。だが、「このままでは、大樹自身の成長につながらない。なんとか勝負や結果にこだわらずに…」と思索した。そして、ことの深刻さを緩和させるため、あえて、こんな、教師らしからぬ話を持ちかけた。給食時、私が隣の大樹に話しかける。「いいこと考えた。敵のチームに『わざと失敗してくれたら焼肉をおごるけど、どう？』と持ちかけてみようか？」大樹「それはダメです」。向かいで食べている敵組の幸太が、「焼肉かあ、それならわざと失敗しますよ」とのってくる。和恵も、続ける。「私も焼肉の方がいい。わざと外しても、悔しがる演技すれば、ばれないし」。まじめな智雄が言う。「だめですよ。チームの仲間を裏切ることになるし」。大山先生「焼肉じゃなくて10万円だったら？」。大樹「それって、収賄罪になりませんか？」。私「たしかに、捕まっちゃうね」。給食前には、思いつめた顔をしていた大樹が笑っている。さらに、私は追い打ちをかける。「大樹、失敗したときは、南先生に『はずしたら、焼肉おごった』と言われたと言えいいぞ」。大樹は「それは、仲間より焼肉をとったことになるので嫌です」と言う。そこで、「そういえば『走れメロス』という話知ってる？」と切り出し、「俺だったら、友だちを裏切って逃げちゃうかもしれん。大樹ならどうする？」と訊く。「死ぬのは嫌だけど、身代わりの友だちが夢に出てくるかもしれないので、逃げたくないです」

—大樹の失敗や勝負への強いこだわりを別の視点の価値観へとそらし、心をほぐす試みとなっただろうか。

運動会当日。大樹は惜しくも失敗した。それでも逃げ出さなかった。予想に反して所属する白組が勝った事情もあるだろう。すべての競技種目で勝ち、代表で優勝旗を受け取った大樹が言う。

「でも負けた紅組のことを考えると、やっぱり引き分けがいいです」——（ほう、すごい。大樹）
心の痛みをたくさん体験してきたからこそ、人の心の痛みに共感できるのだ。
そんな大樹に乾杯（完敗）！

【NPO愛実の会寄付者名 (順不同・敬称略) 2018年月4月1日～2018年6月30日】

★寄付金

梅津 ヨシ子 見木 靖美 田中 綏子 山内 正美 三矢 かな江 三浦 豪
酒井 久仁子 風間 文子 武井 陽一 岩橋 常久 安藤 眞知子 東 昌子
持田 由美子 江崎 敬子 牧野 雅樹 山本 茂一 尾島 夫規子 草野 幸
板谷 千恵子 加藤 和子 有村 忠雄 大渕 哲也 佐藤 千恵子 水戸 潔
加藤 由美子 鶴崎 祥子 川口 耕平 戸田 澄子 前山 美恵子 近藤 洋
河村 比佐子 加藤 久雄 野崎 典子 水野 享好 河内 常男 柏木 實
矢口 由美子 湯本 睦美 山中 敦司 相馬 伸郎 大村 恵子 福島 真
朽久保 滯子 伊藤 英昭 榛葉 英子 山崎 京子 西山 公子 有賀 進
吉岡 満智子 脇田 純子 畦地 優美 笠谷 恵子 難波 幸矢 藤村 洋
榎本 久美江 中谷 塩子 梅村 亜恵 奥山 善正 石原 艶子 橋口 洋
久野 みさき 細田 和民 志村 澄江 西川 道子 南 吉衛 栗原 健
伊藤 あつ子 阿部 健二 比企 敦子 藤沢 徳治 黛 八郎 森 豊
今枝 ミサ子 清水 茂雄 山中 美穂 伊藤 和子 塩田 保

石田周介・伊志子

吉見 よね子 (複数回) 堀尾 勇夫 (複数回) 島 しづ子 (複数回)

日本キリスト改革派名古屋岩の上教会 岡崎教会子どもの教会

★紙風船夢づくり

小薄 満寿美 大村 恵子 石原 艶子 藤原 信子 浜嶋 一史 潮田 則行
川口 いづみ 山中 美穂 鈴木 宏始 木村 淑江 奥田 紘子 宮原 祐子
森永 富貴子 森 豊 竹山 徹 永井 猛

ファミリーマート道德通2丁目店

★物品寄付

上野 嶺 渡辺徹朗

【任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」寄付者名 (順不同・敬称略)】

塚田 多佳子 大藪 礼子 渡井 秀雄 鈴木 恵美 安藤 香代 安藤 晋
刈谷教会CS 喫茶愛実

【ボランティアでご協力いただいた方 (順不同・敬称略)】

ホールコンサート

本多 正典 (ジャンベ太鼓)

ダルセーニョ 神田夫妻 (オカリナ・ピアノ・リコーダー)

浪速の歌う巨人・パギやん (趙博) 春間げん

紙風船

永田 友香

ご協力ありがとうございました。

職員異動

【新人・紙風船正職アシスタント】

□角田 共生

4月よりアルバイトから正職員になりました角田共生です。メンバーと共に楽しく明るく、紙風船で活動していきたいと思えます。これからもよろしくお願い致します。

【新人・ドライバー】

□増嶋 功一

4月12日よりドライバーをしている増嶋です。安全な運転を心掛けます。どうぞよろしくお願い致します。

寄付金のお願い

年間寄付金の目標額350万円

*愛実の会の活動のため 330万円

理念に沿ったアシスタント体制の充実及び車両整備

*人形劇団紙風船の活動のため 20万円

人形修繕や大道具・小道具作成費用等

3月6日以降の寄付金は寄付控除ができるようになりました。確定申告の際に、領収書が必要となりますので大切に保管してください。

皆様からの多大なご支援に心より感謝申し上げます。

紙風船へのご寄付は、通信欄に「紙風船夢づくり」と書き添えていただきますようお願い致します。

【所在地・連絡先】

特定非営利活動（NPO）法人 愛実の会

□ 居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24

TEL：052-693-7645 FAX：052-746-2639

□ 障がい者デイセンター愛実（生活介護）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24

TEL：052-693-5897 FAX：052-691-7889

または

【「NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替

□座番号 00850-6-187490

□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会 1□1,000円 何□でも結構です

- ◆ 寄付金（賛助会費・NPO愛実の会の活動に関する費用）
- ◆ 紙風船夢づくり（人形劇制作費、公演活動に関する費用）